

独立行政法人国立青少年教育振興機構国立信州高遠青少年自然の家利用細則

(趣 旨)

第1条 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立信州高遠青少年自然の家（以下「青少年自然の家」という。）の利用に関し必要な事項については、独立行政法人国立青少年教育振興機構利用規則に定めるもののほか、この細則の定めるところによる。

(利用の申込み)

第2条 青少年自然の家を利用しようとする者は、所定の申込書を利用開始日の6週間前までに所長に提出するものとする。

(利用の承諾の通知)

第3条 所長は、前条の規定による申込みがあった場合は、国立信州高遠青少年自然の家利用申込審査要領に基づき、団体登録（初回または第13条2項に基づく団体登録抹消後最初の利用申込みである場合）及び利用申込みの審査を行い、団体登録の可否を判断する。可としたものについては申込のあった活動内容を検討し、必要に応じて活動計画について指導及び助言を行うとともに、施設・設備の状況等を勘案して利用の諾否を決定し、当該申込者に通知するものとする。

(禁止事項)

第4条 青少年自然の家においては、次の各号に掲げる行為を行ってはならない。

- 一 特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他の政治的活動
- 二 特定の宗教を支持し、又はこれに反対するための宗教教育その他の宗教的活動
- 三 専ら営利を目的とする活動

(利用者の入・退所等)

第5条 利用者の入・退所時間は、原則として9時から16時30分までの間とする。
2 利用者は、青少年自然の家の生活に関するオリエンテーションを受けるものとする。

(標準生活時間)

第6条 利用者は、所長の定める標準生活時間により生活するものとする。
2 前項の標準生活時間の中には、朝のつどい及び夕べのつどいの時間を設け、国旗及び所旗の掲揚・降納を行うものとする。

(宿泊棟の清潔保持)

第7条 利用者は、宿泊室等の清潔を保つため、相互に協力して清掃及び整理整頓に努めるものとする。

(食事等)

第8条 利用者の食事は、青少年自然の家において定める献立により行うものとし、飲食物の持込みは原則として認めない。ただし、特別の事情があると所長が認める場合は、この限りではない。

(酒類の飲用及び喫煙)

第9条 所長は、利用団体から酒類の飲用希望があった場合は、他の利用団体の利用状況等を勘案のうち、特に支障がないと認めた場合に限り、次の各号に定める場所において許可する。
一 宿泊棟（からまつホール2Fを含む）

二 研修室（木曾）

三 食堂

2 利用者は、屋外の所定の場所以外で喫煙してはならない。

（破損亡失の弁償責任）

第10条 利用者は、故意又は重大な過失により青少年自然の家の施設・設備を破損又は亡失したときは、その弁償の責を負うものとする。

（諸規則の厳守等）

第11条 利用者は、青少年自然の家の諸規則を守るとともに、他の利用者等に迷惑の及ぶ行為を行ってはならない。

2 所長は、前項の規定に違反した者に対して、退所を命ずることができる。

（利用承諾の取消）

第12条 所長は、青少年自然の家を利用する者が次の各号のいずれかに該当する場合は、第3条の承諾を取消することができる。

一 第4条各号及び第11条第1項に違反するおそれがある場合

二 その他所長が特に必要と認めた場合

（利用申込みの受付制限及び団体登録の抹消）

第13条 所長は、第3条による利用を否とする決定及び前条による利用承諾の取消が行われた利用団体について、期間を定めて手利用申込みの受付を制限することができる。

2 前項に定める利用を否とする決定又は利用承諾の取消の前提となった活動等が重大又は悪質なものであると所長が認めた場合は、前項の規定にかかわらず、団体登録の抹消をすることができる。

（雑則）

第14条 この細則に定めるもののほか、必要な事項については所長が別に定める。

（附 則）

この細則は、平成26年4月1日から施行する。

（附 則）

この細則は、令和5年7月1日から施行する。